佐々木　聡
（令和クラブ）

佐々木議員の動画はこちら

質問項目

- 鳥獣被害対策について
- 市長選挙の公約について
- 公共交通について

鳥獣被害の現状は

クマによる人身被害が2件発生した

議員　**市当局の職責として重要なことは市民の安心できる生活環境を維持することだ。釜石市内の鳥獣被害の現状はどのような状況なのか動物の種類ごと、被害の金額、傾向などは。**

産業振興部長　令和４年度の野生鳥獣による農作物の被害状況はニホンジカによる被害額が約１１００万円と突出して高く次いでハクビシンが約40万円、スズメが約15万円、ツキノワグマが約10万円、カラスが約10万円、ニホンザルが約３万円だ。被害額を農作物別にみるとニホンジカによる被害は全体の約90％を飼料作物が占めており、次いで稲、野菜となっている。次に多いハクビシンは野菜が約90％、果樹が約10％となっており、スズメは稲が１００％、ツキノワグマは果樹が１００％、カラスは野菜が約80％、飼料作物が約10％、ニホンザルは稲が約70％、果樹が約30％となっている。

また、本年度、現時点の人身被害は、クマによるものが２件発生している。

議員　**市が実施した鳥獣被害対策はどんな方法で行い、その効果は。**

産業振興部長　被害防除対策として釜石地区鳥獣対策協議会が農家を対象に電気柵や恒久柵などの鳥獣被害防止柵の設置を進めている。市の事業でシカ防護網の配付をし、有害捕獲はニホンジカの捕獲を釜石大槌猟友会に委託している。昨年度は１７５６頭、本年度はこれまでに１３９５頭の捕獲を実施している。

ハクビシンは捕獲用の箱わなを貸与し本年度27頭を捕獲している。ツキノワグマやニホンザルは農作物被害や生活被害、人身被害の恐れがある場合、岩手県に鳥獣捕獲等の許可を申請し捕獲を実施している。これらの被害防止対策の効果で農作物被害額が年々減少してきていると考えている。

議員　**県交通では乗務員不足が続いていることから本年４月より一部路線の減便を伴うダイヤ改正を実施しましたが市民からは「これ以上路線バスの減便をしないで欲しい」との声が届いている。今後の路線バスの運行維持について当局はどのように考えているのか。**

市民生活部長　バス事業者に対し運行維持に必要な支援策と併せ当市に見合った移動手段の導入などで路線バスの運行維持に努める。

果樹を求めて来るクマに注意しましょう

今号から各議員ごとに一般質問の動画をご覧いただけるよう議員の名前の下にＱＲコードを入れております。